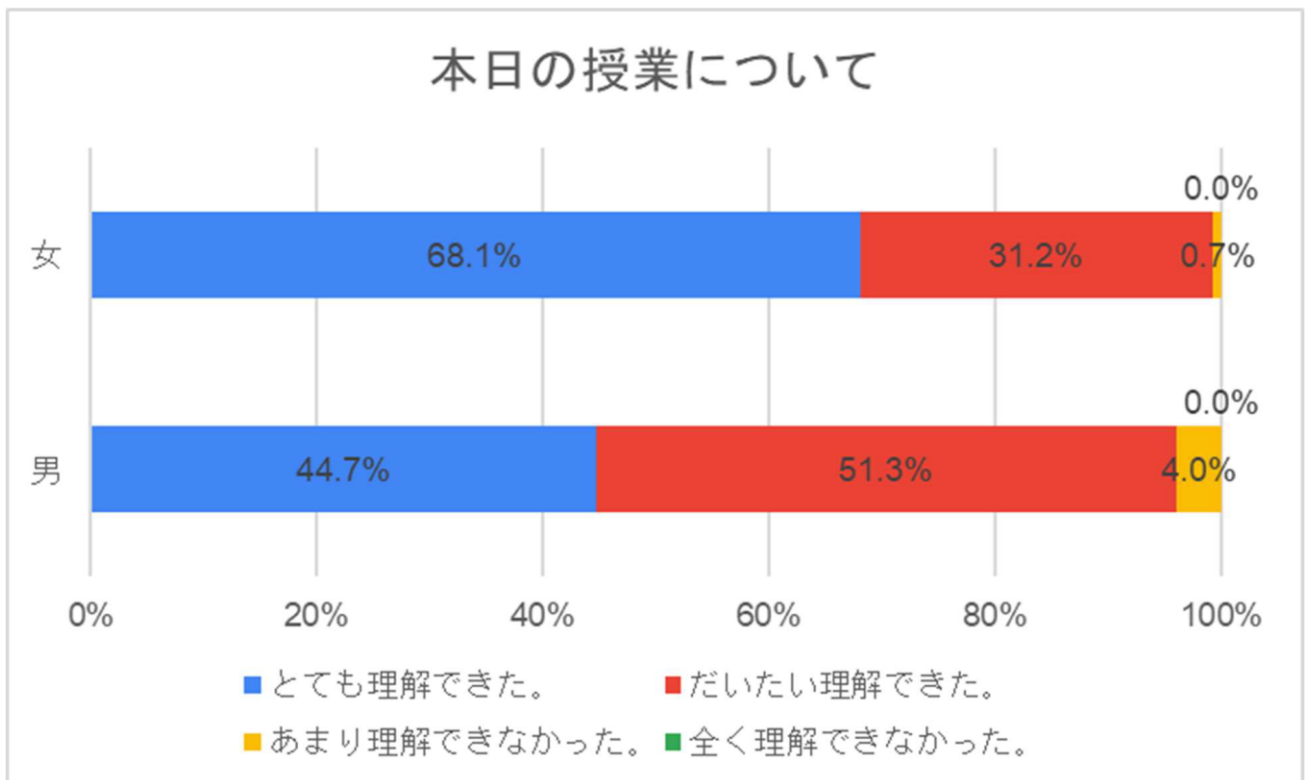


宮城県家庭教育支援チーム派遣事業 事後アンケート集計

仙台第二高等学校

- 1 派遣事業日 令和4年10月17日（月）
- 2 調査方法 紙アンケート
- 4 アンケートの分析（回答者 男：150名，女：141名）

（1）本日の授業についてどのように感じましたか？

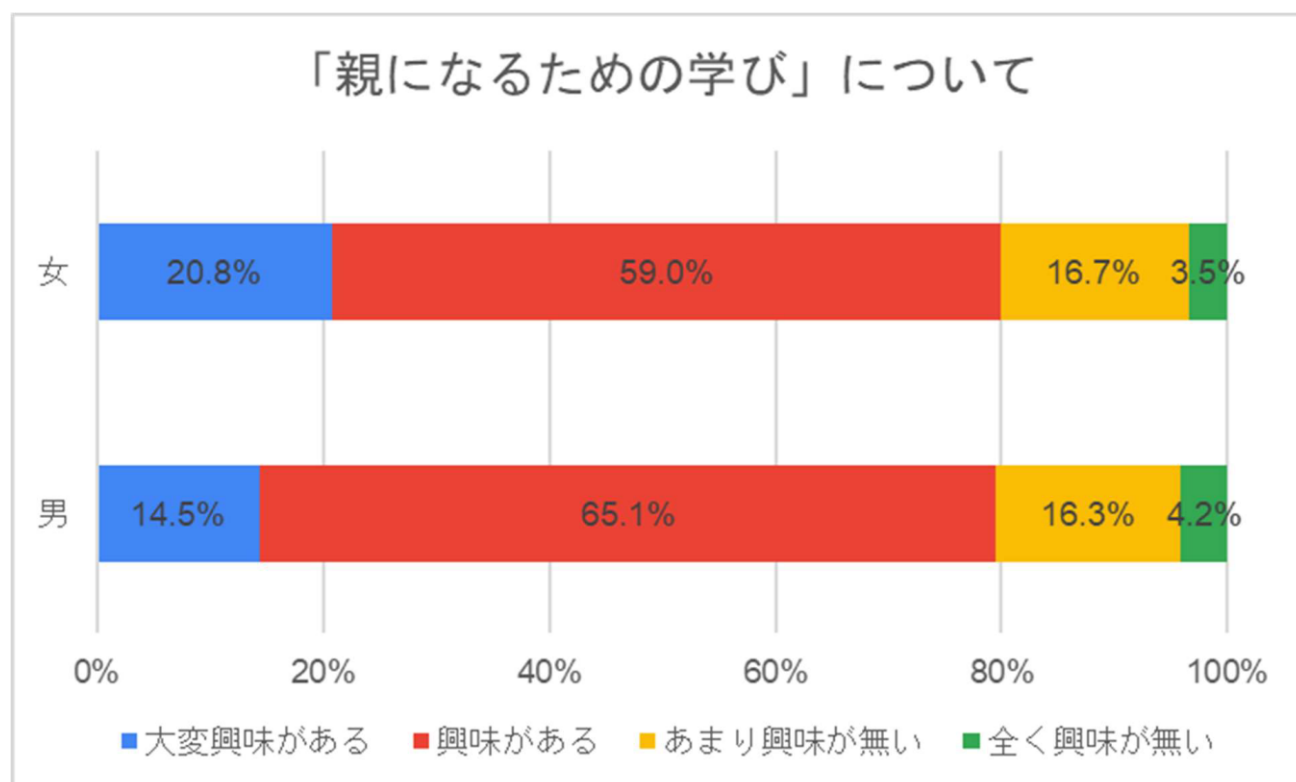


ほとんどの生徒が「とても理解できた。」「だいたい理解できた。」と回答している。一部「あまり理解できなかった。」と回答した生徒はいるが、「全く理解できなかった。」と回答した生徒はいなかった。概ね本日の派遣事業は成功したと言える。

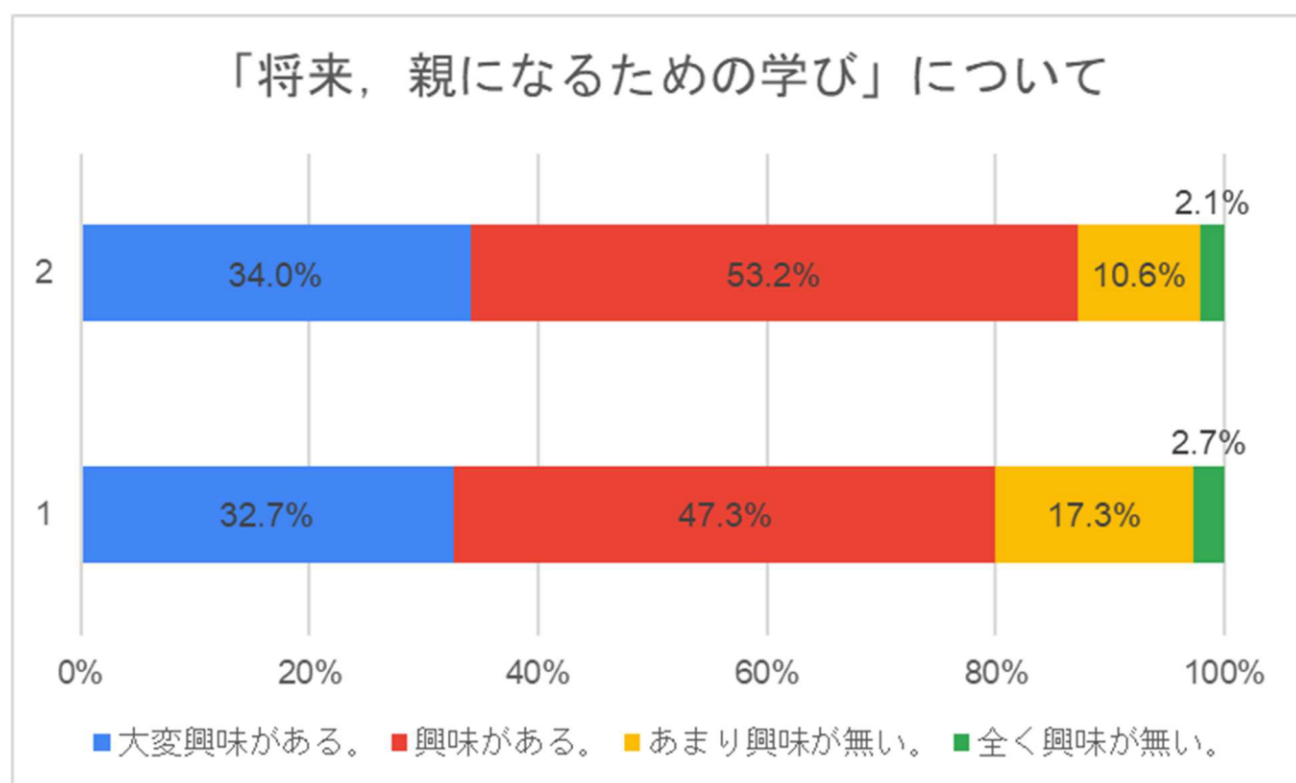
男女の違いとしては、女子生徒の方が「とても理解できた。」と回答している割合が高い。実際に妊娠をするかもしれない女子生徒にとっては、近い将来経験する可能性もあることから、興味深い内容だったと推測できる。

（2）あなたは「将来、親になるための学び」に興味がありますか？

【事前アンケート】



【事後アンケート】



事前アンケートよりも事後アンケートの方が、「大変興味がある」と回答した生徒が増えている。特に男子生徒については、事前アンケートと比べて2倍以上になった。また、「あまり興味が無い」「全く興味がない」と回答した生徒は減った。

(3) 印象に残った事や“学んだこと”“考えさせられたこと”等を中心に一言感想をお願いします。

【親に関すること】 127名

自分は両親から多くの愛情を注がれて生きてきたことが分かったので、これからも明朗快活に生きていきたいと思った。

居場所が必要なことや試行錯誤を続けることなど、親という立場になっても本質的に人として共通する特徴があることを再認識して少し安心した。

親はいつも子供に不安を見せないようにしてくれていたが実は多くの不安があったと知って、そんな中でも育ててくれたことに感謝したいと思った。もし自分が親になったとしたら、子供にたくさんの愛情を注いであげたい。

親は子を産む前から、その子のことを考えているということを知り、ありがたいと思った

親になってみないと実際分からんわ笑

親への感謝を大事にしたい

子供は親だけでなく周りの人と協力して育てていくものだと分かって良かった。

親は赤ちゃんの成長が本当に楽しみなんだと分かった

子育ては親だけでなく、地域の方々と共にするものだとことを学びました。

出産は母親ひとりのことではなくて、家族全員で協力して取り組む必要があると感じた。

親になるための準備について考えさせられた。

親になるためには母親だけの力ではなく、赤ちゃんや家族、地域の人など沢山の力が必要であることが分かった。

出産における負担は非常に大きいことがわかり、自分を産んで育ててくれた自分の親に感謝しようと思った。

家族が自分を大切にしてくれていることを改めて実感し、嬉しく感じました。また、家族への感謝の気持ちがより大きくなりました。

親のありがたみを感じて生きていきたい。

親という存在の多様性についてのこと

親になるのは大変なんだな一時思った。

自己理解を深めることが親になり、成長するための第一歩であると感じた。

子育ては母親だけでなく家族全員がサポートすることが大切である事を学ぶことができた。

出産は親子の初めての協働作業という表現が1番印象に残った

人の名前の由来は両親が多くの時間を費やして考えた願いが込められているものだと感じた
お母さんになると言うのはとても大変なことで辛いけど嬉しいことでもあると分かりました。

私の親もこうやって私を育ててくれたと思うと感慨深く感じました。

両親も1人の人間で、自分の人生を生きているということが意識の外側にあったことに気づいた。

親の苦労というのはたくさんあるんだということを学んだ。

母親にもたくさんの不安があることを知って、今まで遠く感じていた「親になる」ことが少し身近に感じられました。

子どもが親にとってどれだけたいせつな存在かわかった。

今までは出産や妊娠といえば生まれてくる子どもの成長や発達についての印象が強かったが、今回の講話を聞いて母親の立場に立って考えることができ、新たな視点を得ることができた。

たくさんの人に影響を与える「生命の誕生」はとても神秘的だと思った。

親になることの責任と大変さそして楽しさがわかりました

生きることは素晴らしいことだとわかりました

自分の親も私を育てるなかで親になったのだと感じた。

親になったときに親としての自覚を持てるようにしたい。

親だけでなく、社会の一員として赤ちゃんやその家庭を支えられるようにしたいです。

親も一人の人間で人生の途中であるということを忘れないようにしたいと思った。

親になること、親としての責任を果たすことは本当に難しいことだと感じました。

お産に“普通”は無いという考え方から、母子に寄り添って出産を迎えることが必要不可欠なのだと分かりました。

最後のVTRの曲と映像を見て、親は私たちの反抗も、全て受け止めてくれてるのだなと気づき、とても感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今まで育ててくれた親や地域社会の人々への感謝の気持ちを大切に、次の世代にも感謝する心の大切さを伝えていきたいと思いました。

親として生きるのは大変そうだと思いました。

親になるということの大切さが分かった。

親の在り方について考えさせられた

親になるということは大変だと分かった

出産のための母親の苦労を学ぶことができた。

親になることでの良いことや大変なことを深く学ぶことができました。

妊娠について詳しく知れたことで、親への感謝が深まりました。

親になるのは大変だということがわかった。

親がつけてくれた自分の名前を大切にしようと思いました。

親になるということは妊娠したからなるものではなく、子供と関わっていくことでなるものなんだと思いました。

親も初めからその自覚があったわけではないと知って、私の親もきっと大変な苦労や心配があったのだろうな、とありがたい気持ちになった。

親の存在の大切さと親になることの大切さに気づいた

最後の曲が最も印象深かったです。優しい歌声とイラスト、そして歌詞に泣きそうになってしまいました。

この講演が、親に感謝したいと思う良い機会になりました。ありがとうございました。

出産をしたら必ずしも母親になれるわけではない、というお話が印象に残りました。

親になることについて非常に考えさせられました。やはり、簡単に色んな人は親と一言で済ませてしまいましたが、実際は心の面であったり、生活の面であったりの準備そして、それらは個人ではなく皆で用意する。そういった関わりがあって、子供を授かり、子育てをしていくそういった経緯の中で親になることを知り、親になるためには、その言葉の意味以上に必要な努力や関わりがあるのだなと思いました。

最後のMV が特に感動的でした。親も日々試行錯誤しながら子育てをしていると考えると沢山迷惑をかけているし、悩ませてしまっているという申し訳なさを感じました。しかし、それと同時にいつも放棄する事なく育ててくれていることに感謝すべきだと思いました。

子どもは親だけの力だけでなく、地域の人たちも関わってくださったことを知った。私を育ててくれた人たちに感謝したい。

「出産」は親子初めての協働作業という表現に考えさせられました。

赤ちゃんの子育ては親だけのものだけでなく、地域の人々もまたその成長を見守り温かい気持ちになっているという言葉にハッとしました。たくさんのことを考えました。

親も一人間なので、安心できる場所がある事は、精神的に救われる事なのではないかと思います。私ももう大人に近づいてきているので、そういった居場所づくりの一端を担えるように家庭内で働きかけていきたいです。その第一歩として、感謝を伝える事から始めていきたいです。

3年後に迫った婚姻開始年齢をうけ、親になるのもそう遠い未来でない自分にとって、とても良いものでした。

親の気持ちが少しわかったのでよかった

生きるとは学びや経験が自分を変えることを感じる事、という言葉が印象に残り子供が学ぶだけでなくその子供を通した親の学びもまた当てはまることに気がつきました。

親になるとは自分が子を産むだけではなく、親世代という捉え方で周りの子供たちを育むという意識を持った大人になりたいと思います。子育て中の保護者にも子供たちにも居場所があるような社会にしていきたいです。

自分達は両親だけじゃなく、地域の人々の優しさ、温かさに育てられてきたことを知った。

そのおかげで改めて、子育ての大変さや、地域の人々への感謝を噛み締めることができた。

最後の歌と映像で、僕は親子の関係の温かさにハッと気づかせられた。感動して気づいたら泣いていたので、是非これからもいろんな人に見て欲しいと思った。

自分を産んだ時の親の苦労についてかんがえさせられた。

私たちは親をはじめ沢山の人の沢山の愛情を受けてきたからこそ今幸せに生きているのだと思いました。改めて感謝したいです。

親の責任についてよく分かりました。

妊娠出産をしたら親になるわけではないということ

子供ができたから親になったかと言うとそうではないということを知って驚いた

母親になるということは、ただ出産するというだけではなく、子育てを通じて少しずつ自身も成長していくということだとわかりました。

産んでくれた親に感謝していきたい

子供というのは本当に親の愛があってこそ存在なんだと思いました。

親になるということは大変だとあらためて思いました。

最後の映像の主人公が親の立場になって自分の親に思いも巡らす所を観て、感動しつつ早くこのことに気づけるようになりたいと感じました。

自分の子どもが活着ているということは親にとってとても嬉しいことであるという言葉が心に響きました。親になることについて深く考えたことがなかったので、お話を聞き、将来について考えることができ良かったです。出産前後の心身の変化や赤ちゃんと一緒に成長していくことについても知れて良かったです。特に印象に残ったのは疑似体験をした中学生の感想を聞いたときです。どの生徒も親への感謝を述べていましたがやはり口にするのは恥ずかしく自分も言えていなかったのが当たり前のことですがありがたいをもう一度ちゃんと言いたいと思いました。

親のがいることのありがたさを感じた。

子育ては母親だけでなく地域全体が関わっていることを学びました。高校生である私はまだ育つ側だと思っていたが、育てる側にも関わっていることに驚きました。

最後の動画が親からの視点を見せてくれた気がして、親になるということの責任を学ぶことができた気がします。

小さい頃の印象として、親になっただけでその役割を担って一生を終えるのだと思っていましたが、今考えると、親も今の私の延長の先で、大切な一度きりの人生を懸命に生きている最中だということを知り、私に親の大切な人生の時間を分けてくれた恩返しとして、親孝行したいなと思いました。

親も試行錯誤しているということ。家族との関わりを大切にしていこうと思います。

子育てする上での喜びを改めて認識でき、さらに子育ては親のみがするのではなく社会全体であるのだと知り知らされました。

親への感謝の気持ちを忘れないようにしようと思いました。

親になるには、妊娠・出産といった出来事を経験するだけでなく、子育てとその準備を通して親へと成長するのだというお話がとても印象に残りました。

母親のお腹に牛乳パック3個分の大きさの赤ちゃんが入ることに驚いた

親の大変さが分かった

お母さんは身体的にも精神的にも大変だということがわかった。

親大変と思った

母親の精神、肉体的な大変さがわかり感謝したいと思いました。

親になるということについてもっと深く考える時間を取りたいと思った

子育ては親だけではなく、地域の方々の協力もあって成り立っているというのがとても印象的だった

受精卵ができるのは奇跡。生まれるのはもっと奇跡。無事に生きるのは奇跡だけど親に助けられている一面も多い。だから我々は親に感謝して生きるべきである。

親も子育てを通じて成長するのだということが印象に残りました。

親になることは思っていた以上に大変なことだと思った

親子関係や生命に関することがテーマになっていた講話でしたが、人生観についても学ぶことができ非常に有意義でした。

講演に来て頂きありがとうございました。

子育てについて母親だけが背負い込むことがないよう、周りのサポートがどれだけ必要かを知りました。

このようなことに興味はあったもののなかなか機会が取れないので、とても有り難かったです。貴重なお時間をありがとうございました。

自分を今まで育ててくれた親に対する感謝が強まりました

親になるということや子育てについて学んで、自分は両親に大切に育てられて生きていますと感じました。

私は今まで、結婚ができそうなら結婚して子供を作ることになるんだらうなーとあまり親になるということについて深く考えてこなかったけれど、今回の講和を聞き、母親になるということはものすごく覚悟のいることのように感じた。また、わたしを育ててくれた母親や、今まで子育てをしてきた全てのお母さんたちは本当に尊敬に値する存在だし、心からすごいなと思った。

親は自分のためにたくさんのことを今までしてくれたので、これからは自分が親を支えていきたい

親になるということ、そろそろ真剣に考え始めなければいけないなと思いました

親子初めての協働作業という言葉がとても素晴らしいと思った。

親になるためには自分だけでなく、まわりの人の支えがとても大切だと思いました。

毎日忙しい中でも大切に育ててくれた両親に感謝したいです。

親になることの具体的な大変さを知り、深く考えるきっかけになった。

親だけでなく、社会も含めてことが分かった。

成人期という「働く」ということをしていきばん忙しい時期に子供を産んで子育てをしているのだと考えると、親って大変なんだなあとと思った

両親や祖父母などの家族以外にも、地域の人などたくさんの人に支えられてこれまでの人生を歩んでくることができたこと、ありがたいことだと思いました。

子育ては親だけで行うものではなく、家族と社会が一丸となって成り立つものだと思った。私は人を頼ることが苦手なので、子育てするときには誰かにヘルプを求めてもいいんだという意識を持っていたいと思った。

妊娠したから、子供を産んだからといって、母親になるわけではなく、赤ちゃんを周りの人と協力しながら大切に育てていくなかで、母親になっていくということについてとても考えさせられました。

本当に興味深く、面白かった。とても具体的な講演で、親になることの想像がよりリアルにできるようになった。居場所の話がとても印象に残った。

自分が幼い頃の親の苦勞が理解できた

反抗的な態度をとったり、ウザがったりしていたけど親の事を大切にしなきゃと思った。

子どもが思う以上に親は大変なのだろうと思った

両親に感謝の気持ちを持つのを忘れないようにしたい

子育ての大変さがわかりました。

親に感謝して生活していきたいです。

親にならずとも地域の子育てに参加できることがわかってよかった。

親が子供に対してどのような思いを持っているのか、ご講演を通して少し理解することができました。今後の生活に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

親になることの大変さ

親の苦勞や愛情を改めて知ることができたので、感謝して生活したいと思いました。

親になるということは子供を産むということと同じであるわけではないということをもなびました。子育て

にはさまざまな環境要因が影響していることも知った。

私は自分が親になることがあまり想像できていなかったけれど、今回の授業を通して少し想像できるようになりました。ありがとうございました。

親になる勇気は私が考えていた以上に大きなものなのだを知ることが出来ました。今まで以上に両親に感謝し、自分の将来も明るく考えていきたいです。ありがとうございました。

人生はトライ&エラーの繰り返しと学んだ。親だけで無く自分も試行錯誤しながら生きていきたいと思いました。

どのような状況に子供がなっても親として受け入れるのが重要だと知った

親としてのあり方をイメージするきっかけが出来ました。

親になるということは、産んだ数だけ人生を決めるということであるので子どもを簡単に作るのではなく、配偶者やその家族とも真剣に相談して家族のあり方を考えるべきだと思いました。

おやにかんしゃしたいとおもいました

母親の負担を減らすために夫など周りの人がサポートしていくことが大切なのだとわかった__

【命に関すること】 35名

命は大切だなと思った

生命は繋がっていることを学んだ

自分や周りの人の命の大切さを実感しました。後半に見たミュージックビデオが特に印象深かったです。

自分が生まれる前、親や自分の周りの人がどのように過ごしてきたかを知り自分がこれから生まれてくる命に対してどう接するべきかを学ぶことができた。

人生は命のつながり

命について、自分について深く考えさせられた良い機会になりました。

命を大切にしていきたいです

生命の尊さを改めて感じた。

命を引き継ぐ責任は誰にでもあるんだなと思った

命のバトンを次世代に受け継ぐことの必要性について考えることが出来た。

命のバトンを繋いでいくことの大切さを理解することができました。

命のバトンタッチとは、子供を産み、育てることだけではなく、自分の思いや生き様を次の若い世代に伝えていくことだ、ということが印象に残った。

生命が巡ることの素晴らしさが分かった。

命の尊さ

命を繋げていくということについて考えさせられた。

子育ての大変さを知り、改めて親に感謝し、自分の命を大切にしようと思いました。

いのちというのは唯一無二の特別なものである

生命が循環していることが分かった。妊娠してからお母さんや家族は様々な準備をして赤ちゃんを迎えているのだと知ることができた。これから親になる準備を少しずつしていきたいと思う。

自分の命も含めて一つ一つの命を大切にしたいと思いました。

命のバトンは必ずしも親子の間で成立するような生物学的なものにとどまらないことがわかった。

命のバトンが繋がり続けてきたことで今の自分がいることに感謝するとともに、自分も命のバトンを受け継ぐ責任があると思った。

自分の知らないところで命のバトンが繋がれて今の自分がいることを実感する非常に良い機会となった。

ありがとうございました

命について考えさせられました

命を繋ぐと言うのは自分が今まさに行ってたり行われているものだと言うのが印象的だった

命とはかけがえのないものであること、また自分には大きな可能性があるということ、これらを改めて理解した。

「命」という存在について考えさせられ、今の自分がいるのは当たり前のことではなく、奇跡的なことなんだなと思い、また、母親、父親、友達など、私は沢山の人ののおかげで今生きていられるのだなと感じ、これからの人生は、自分の周りの人への感謝を忘れずに、そして、人生をより良いものにできるように、自分自身ともゆっくり向き合っていきたいと思います。ありがとうございました。

「命のバトン」の話が、特に考えさせられました。

命が誕生するということの重要さが感じられた

親に感謝すると共に命を今まで以上に大切にしたいと思います

命のバトンタッチは一意に定まらないこと

今まで両親に大切に育てられてきたことを改めて実感しました。自分の命も大切ですが、相手の命も大切にしていけたらいいなと思います。

命のバトンタッチという考え方が興味深いと思った

「人が生まれる」ということは、多くの人の努力・協力・運が結びついた結果であり、「かけがえのない命」という言葉の意味をはっきりと理解することができた。

人生は自分だけではなく、命を繋いでいくこととともに、周りの人の助けが重要なのだとわかりました。

子供を育てる以外にも命のバトンを次世代に繋げる方法があることが分かった。

【子育てや出産等に関すること】 34名

講和を聞き、出産や子育てにおいて地域の人々の支援の大切さに気付かされました。ありがとうございました。

出産や子育ての大変さについて実感できた。

出産や子育ての大変さがよくわかった。

子育ての苦労や喜びについて知り、改めて支えてくれる人に感謝したいと思いました。

出産は親と子の初めての共同作業というところが1番心に残った。

子育ての大変さをより感じる事ができた。

どんな人にも可愛い赤子の時期があったのだと思いました

出産するまでは体だけでなく心、生活の準備もしっかりやらなければならない、出産というものは軽く捉えてはいけないものであることがわかった。

妊娠している人だけでなく、周りの人も一緒に支えて行くことが大切だとわかりました。

育児の居場所という言葉が印象に残りました。

一人一人が特別なお産であり、お産には普通はないという言葉が特に印象に残りました。

今回の講話を通して、普段の生活では学べないようなことを学ぶことができました。今回学んだことを、将来家庭を持ったときに活かしていきたいです。ありがとうございました。

赤ちゃんが産まれてくるのは奇跡的なことだと感じた。

子供を産むことや育てることは本当に大変なのだと改めて感じた。

妊婦さんはたいへん

赤ちゃんの可愛さがわかった

今までぼんやりとしか知らなかった妊娠の大変さがよく分かった

子育てに多くの人間が関わっていることを知った

子育ては大変だなと感じた。

妊娠しまから、出産したからといって母親になったわけではないと知り、母親の定義は難しいと思った。

妊娠したからといってすぐに母親なるわけではなく、妊娠を心から受け入れる必要があるという考えがとても納得しました。

お腹が大きくなると動くのも大変になるのでサポートしていきたいと思いました

妊娠、出産では、母親自身だけでなく周りからのサポートが大切だということを学びました。

子育ては地域全体で協力し、環境づくりからサポートしていくものだということが印象に残った。

子育てには家族内だけではなく、地域の方々と協力して行われていることを理解出来た

子供の成長が地域を活性化させているということが印象に残りました。

妊婦さんは、とても大変な生活を送っていることを改めて実感し、周囲の気遣いが大切だと思いました。出産は、喜びだけでなく、大きな不安を抱えることでもあるというのが、印象に残りました。

子育ては地域社会全体で協力して行うことの大切さを学びました。

育児は地域の支えが必要であること

子育てを家族という閉鎖的な空間だけで行うのではなく、地域のサポートを積極的に受け入れることが夫婦にとっても子供にとっても良い効果を生むのだと分かり、周りの支援を大切にしていきたいと思いました。

妊娠したら母になれるわけではなく、心の準備や経験を通じてなれるのだと知り母に感謝しなければいけないと感じた。

子どもが生まれて育てていくことは思っているより大変だけど素晴らしいなと思いました。

子育ては地域住民と協力する必要があると分かりました。

昔から子供を産むつもりはなく、こういった授業では肩身の狭い思いをすることが多かったので、子供を産むことが全てではないという言葉がありがたかった。

子育ての実態について学ぶことが出来て貴重な経験になりました。

【自分に関すること】 33名

自分のことを考えるとスラスラと文字に自分のことを起こせない実感があったため見直すことを大事にした

子育ては自分の人生の2倍、3倍も生きることなのだと感じました。

「自分」を見つめ直す必要があると思った

今回の講話で、自分の過去を振り返ることで未来に見通しが持てるということを学びました。

結婚や出産をより自分事として考え、向き合わなければならないと改めて学んだ

自分について振り返るいい機会になりました

改めて全ての人に感謝の気持ちを持って自分を大切にしようと思いました。

自分をよく知り、理解し、受け入れることから全てが始まるということを知ることができました。

私が、たくさんの人に支えられながら今まで生きてきたことは、凄いことだったのだと、実感しました。

自分はたくさんの人に支えられて生きてきたことを改めて感じました。

今、妊娠も子育ても経験したことない私たちに何ができるかを考えなければいけないなと思った。ありがとうございました

沢山の支えがあって、私が生きていることが分かって、感謝の気持ちをもちました。

今の自分がここまで生きてこれたのは本当に多くの人に支えられてきたのだと改めて気づかされた。いつも支えてもらうばかりでなく、これからは誰かの支えになれる存在になりたいと思います。

これまで自分が育ってきたことや勉強できてきたことなどが全て、親や先生のお陰であることを今までで一番実感できたと感じました。

自分についてあまり知っていないことがわかった。

自分はこれまでたくさんの人たちに支えてもらって生きてこられたのだと改めて感じた。今後はまわりにもっと感謝しながら一瞬一瞬を大切に生きていきたい。

自分を見つめるよい機会でした。

自分をもっと知るべきだと思った

生きているだけで素晴らしいと言われて、何も取り柄がない私でも生きているだけで素晴らしいのだと実感でき、私みたいに感じている子にこの考えを広げていきたいと考えた。

本当に自分の事なのに知らないことが多くて、「こんなに分からないことが多いのに、これからの自分の人生に関わる進路を決めようとしていたのか…」と思いました。ちゃんと自分のことを理解してからもう一度、進路についてよく考え直そうかなと思いました。

自分を理解して褒めてみようと思いました

自分についてもっと関心を持ってみようと思うきっかけになりました

現在の自分を理解することが、将来につながることを学びました。

未来の自分についてこの授業を通して想像できて良かった。

子どもは生きているだけで周りに幸せを与えるという講師の方の言葉に自分の存在が認められたような気がしました。

自分自身についてしっかり考えて行きたいと思った。

母親の大変さが、自分に置き換えて感じる事ができました。自分もサポートできたらいいなと思った

自分を支えてくれているのが家族だけではないことがよく分かった。また、親にしっかりと感謝をして生活をしていきたいと思った。

ありふれたことではありますが、自分がこれから伝えていきたい事を次世代へ繋いでいきたいと思いました。

まず、現在の自分を棚卸して自分について振り返るのはとても難しいと感じた。

喜びだけでなく、不安もあったと思うが、それでも私を産んで育ててくれている母（や父）には感謝したい。

講話の最後に流れたビデオがとても感動した。自分も命のバトンをしっかりと受け継ぎたい。

自分について深く考えようと思いました。

自分自身を外から見ることは難しいと感じた。

自分を大切にすることで、自分も周りの人も幸せになるのだなと思いました。

【動画等に関すること】 9名

あの歌はなんですか？

歌がよかった

最後の動画がとても印象に残りました。

サクランボ→レモン→メロン→牛乳というのがわかりやすかった

歌がついているビデオがとても感動しました。

物語仕立ての曲

最後の動画にとても感動しました

映像や画像を多用すると、理解の助けになる。

最後に見た動画はとても感動しました。

【その他】 34名

すべての人間がたいへん遠い親戚であるのかなと思った。

人は繰り返して生きている

生きていることは素晴らしいということ

学びになりました

みんなで助け合うことができるのはとてもありがたいし大きいことだと思った。

勉強になりました。

人生はトライアルand エラーであるということ

将来についてよく考えさせられた

トライアルアンドエラー

愛情を受け継ぐ

心理的なことがとても大きな影響を与えることがわかりました。

みんな家族から愛されて育っているということが分かった。

泣きそうになりました。

明日が来ることは当たり前ではなく、昨日はもう二度と来ない。そう考えると、一日一日を大切にしていこうと思いました。

必要な社会保障について具体的に考えたいと思いました

生きることの責任を感じました。

大切に生きたいと思った

人生大切にしたい

今まで知っていたことの再確認ができた。

よかったです

ゆうたさんの名前の由来にとても感動しました。

「ある段階での生き方によっては、次の段階の内容は大きく変わっていく」という言葉が印象的でした。これからの段階を

楽しく生きるために、今を頑張ろうと思います。

今回の講話を通して、他者への理解がとても大切だと感じたので、否定することなく、理解していきたいと思います。

相手のことをしっかりと考えなければならない

よく理解できた

名前に意味がない人がダメであるわけではないことを主張したい

記述を類型化したところ、親に関する記述が最も多かった。次いで命に関する事、子育てや出産に関する事、自分に関する事となっている。内容では、親に関する感謝の気持ち、命をつなぐこと、地域とのつながりなど、授業で伝えたかったことがよく伝わったと言える。 _